

☆AZM活動(クラスみんなで)

今朝(21日)は、あいにくの雨でしたが、生徒玄関であいさつ運動を元気にやってくれていました。

「いつもより人数が多いな」と思っていたら、2年6組の皆さんが自主的に参加してくれていました。

雨で制服が濡れて、1日の始まりが残念な気持ちになるところですが、皆さんの元気な「おはようございます！」の声が気持ちを明るくしてくれますね。



☆避難訓練

24日(金)は「避難訓練」を行いました。今回は「地震」を想定して実施しました。

東日本大震災から8年が経ちます。熊本地震からは3年が経ちました。そして記憶に新しい、北海道胆振(いぶり)東部地震からは、まだ8ヶ月しか経っていません。いずれも、たくさんの方々が亡くなり、多くの被害が出ています。

実は、訓練が行われる1時間ほど前に、埼玉県北部で地震があり、東町では震度1が観測されています。皆さんが気づかない程度の規模でしたが、何となく揺れを感じたので「気象庁」のホームページを見て確認しました。避難訓練当日にも地震があるのです。日本が地震大国であることを、しみじみと感じます。

訓練の時に話しましたが、人間には「正常化バイアス」という特性があるそうです。自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりしてしまう特性のことで、自然災害や火事、事故、事件などといった自分にとって何らかの被害が予想される状況にあっても、都合の悪い情報を無視したり、「自分は大丈夫」「今回は大丈夫」「まだ大丈夫」などと過小評価するなどして、逃げ遅れの原因となるものです。

災害で亡くなる方はたくさんいらっしゃいますが、その中の誰一人として、その日、自分が被害に遭う、と思っている方はいないでしょう。でも、実際にたくさんの被害が出ています。

今回の訓練も皆さんはしっかり出来ていましたね。無駄なおしゃべりをする人や、ふざける人が全くいませんでした。「自分は大丈夫」と思わず、いつでも意識してほしいと思います。

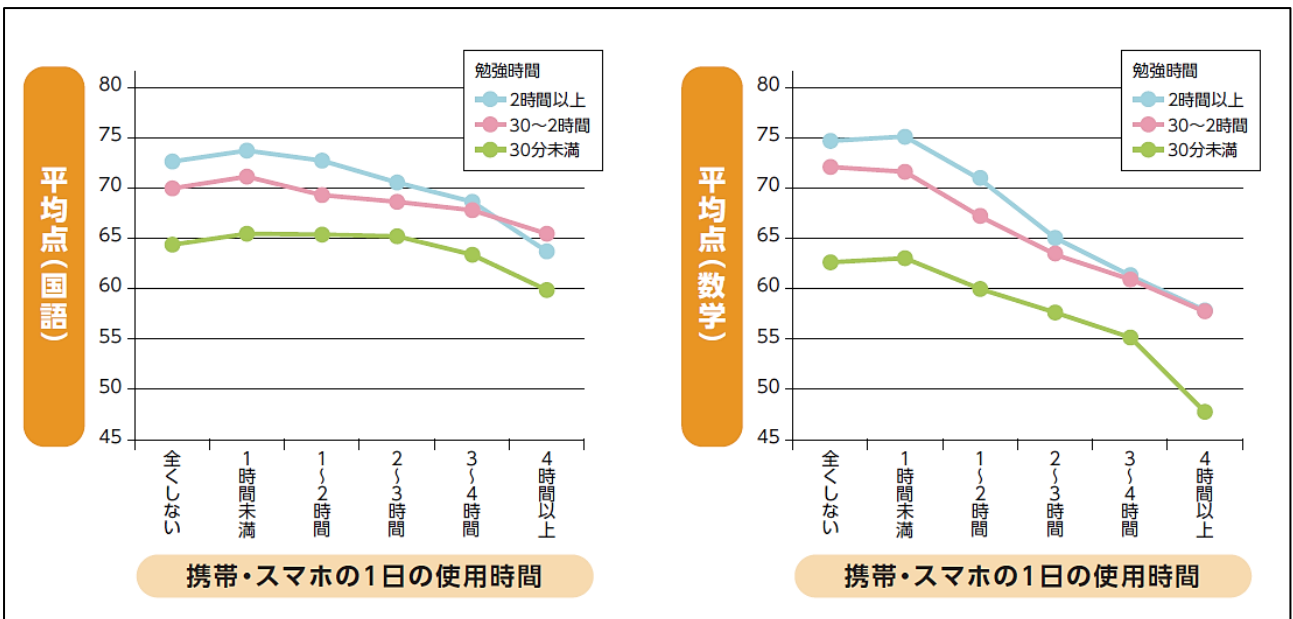


☆自分をコントロールする

先日、「伊勢崎市PTA連合会定期総会」の講演会で、スマホについてのお話を伺いました。スマホの所持率が年々上昇していて、講演会に出演していた子どもたちの感覚では、実際のデータを上回り、小学生で7割、中学生で8割以上の生徒が持っているように感じているようです。

講演会はとても面白くて勉強になりました。その中で私が特に興味をもった内容がありました。それは、「スマホを全く使わない人よりも1時間ほど使う人の方がテストの平均点が良い」というものです。

さて、下の図を見てください。これは、仙台市教育委員会のホームページの中に「学習意欲の科学的研究に関するプロジェクト」という項目があり、その中のリーフレットに見られるデータです。



(「仙台市教育委員会『学習意欲の科学的研究に関するプロジェクト』作成リーフレット 平成25年度版」より抜粋)

携帯・スマホの1日の使用時間が2時間以上では平均点がグッと下がります。2時間以上勉強をしている人でも、携帯・スマホの使用時間が3時間~4時間を超えると、かなり平均点が悪くなっています。しかし、「全くしない」という人より、「1時間未満」の方が、国語も数学も平均点が高いことが分かります。これは一体どういうことでしょうか。



「1時間未満」の人は、スマホの使用を切り上げて勉強に取り組むことが出来る「意志の強い人」であることが要因のようです。つまり、このグラフが「携帯・スマホの使用時間」ではなく、「テレビを見る時間」であっても、「マンガを読む時間」であっても、「音楽を聴く時間」であっても結果は変わらないということです。

「1時間未満」の人は、何が大切なのか優先順位を付けて、しっかりと「大切なことに気持ちを切りかえることができる人」ということです。

家庭学習は人にやらされるものではありません。自分自身で取り組むものです。先生やお家の人がいくら「勉強しなさい!」と言っても、自分が「よし、やるぞ!!」と気持ちを切りかえなければ始まりません。勉強が出来る人は、「自分をコントロールできる人」だと思っています。

